

<資料紹介>

滋賀大学図書館所蔵 Clément Colson (1853-1939) の書簡について

御 崎 加 代 子

はじめに¹⁾

クレマン・コルソン (Clément Colson, 1853-1939) は、19世紀末から20世紀にかけて、フランスで活躍したエンジニア・エコノミスト²⁾の代表格である。コルソンは経済学者としては、交通経済学の先駆けとして、またフランスで最初に国民所得の算定を行った人物として有名である。彼は経済学の教育・普及においても活躍し、同時に官僚として輝かしいキャリアを築きあげた稀有な人物である。

2007年度に滋賀大学図書館が購入した、彼の代表作『経済学講義 (Cours d'économie politique)』(全6巻)のうちの第1巻『経済現象の一般的理論』(1907)の中に、著者は偶然、手書きの書簡2通がはさまれているのをみつけた。そしてこの2通

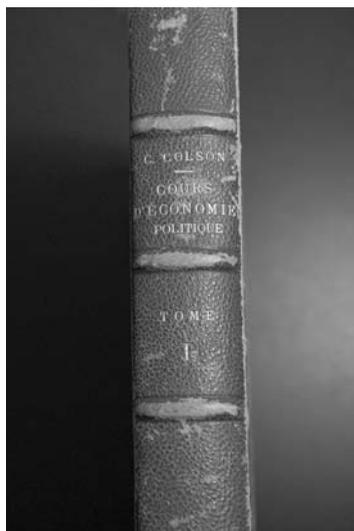


図1 滋賀大所蔵『経済学講義』第1巻の背表紙)

1) 本稿の執筆にあたっては、リヨン第二大学 Gérard KLOTZ 教授、東京女子大学栗田啓子教授から、貴重な助言を受けた。

2) 「エンジニア・エコノミスト」と呼ばれる人々は、フランスの近代化の過程において公共事業にたずさわった高級官僚であり、職業上の必要性から経済理論の発展にも多大なる貢献をした。消費者余剰の概念を示したデュピュイ (Arsène Jules Emile Juvénal Dupuit, 1804-66) もそのひとりである。エンジニア・エコノミストについての代表的な研究としては、栗田 (1992) があげられる。

は、著者 Colson の手によるものであることがわかった。本稿では、コルソンの略歴とこの著作の背景、そして書簡の内容を紹介する。

1. コルソンの生涯³⁾

コルソンは、1853年11月13日にヴェルサイユに生まれた。少年時代は、哲学に興味をもっていたが、1873年に、理科系のエリートが集まる理工科学校（Ecole Polytechnique）に入学し、数学者のポワンカレ（Henri Poincaré, 1854-1912）とは同じクラスで学んだ。その後、土木技師を養成するエリート校、土木学校（Ecole des Ponts et Chaussées）で土木技師になるための教育を受け、卒業後は、国務院（Conseil d'Etat）の修習官になるための試験を受ける。そしてこの試験に受かったときから、コルソンの輝かしいキャリアが始まる。

1879年に建設省（Ministère des Travaux Publics）に入ったコルソンは鉄道、道路、航海、鉱山部の副局長となり、1894年には、鉄道部の局長となった。彼は、官僚として卓越した能力をもち、特にその決断力や政治家からの独立心が評価されていたという。この間、コルソンは、公共事業、特に交通にかかわる経済問題に関心をもち、その解決に多くの時間とエネルギーを費やした。第一次大戦前後には、政府内で最も影響力があるとされた、同省の財政部門のトップに任命された。本稿が取り上げる書簡が書かれた1923年当時は、フランスの行政職における最高の地位である国務院の副議長〔議長は首相〕にのぼりつめており、1928年の引退までその地位にあった。

コルソンは、官僚としてのみならず、教育者としても大きな功績をあげた人物である。1885年にグラン・ゼコールのひとつである高等商業学校（Ecole des Hautes Etudes Commerciales, HEC）において「輸送」の授業を導入し、同年『交通機関と料金（Transports et tarifs）』という著書を公刊した。1892年には、母校である土木学校の教授に任命され、1932年までその地位にあった。また1905年には、政治科学自由学校（Ecole Libre des Sciences Politiques）の教授になった。これは、戦後、多くの首相や政治家を輩出したパリ政治学院（IEP）の前身と

3) コルソンの生涯については、Roy (1940) や Zouboulakis (2003) が詳しい。

なる学校である。政治科学自由学校は1872年設立され、1945年に当時の首相シャルル・ド・ゴールにより、学校の運営母体となる国立政治学財団 (Fondation Nationale des Sciences Politiques) とパリ政治学院とに改組されることになる。1901年から1907年にかけて公刊された、主著『経済学講義 (Cours d'Economie Politique)』は、このようなコルソンの教育活動の一環として書かれたものであるが、これが評価され、1910年には道徳政治科学アカデミーの会員となった。また忘れてはならないのが、コルソンの統計学へのアカデミックな貢献である。彼は1906年統計学国際機関のメンバーになり、1918年から1936年までフランスの一般統計会議の会長、1929年には統計学会の会長に就任している。

さて、コルソンが生涯に著した単行本、パンフレット、論文は多くあるが、彼の長い行政の経験、公共事業への献身、古典派経済学と新しい限界主義経済学の両方に影響を受けた経済理論、数学、統計学、計量経済学を駆使した新しい経済学分析手法などが、その著作を特徴づけている。それらを貫く精神は、プラグマティックな自由主義であると Zouboulakis (2003) は評している。他のエンジニア・エコノミストと同様、効率と公正との実現のために、市場原理と国家介入をどう組み合わせるのかというのが経済学者としてのコルソンの生涯の課題であった。

2. 主著『経済学講義』

この著書は、コルソンがおもに土木学校での経済学の授業での教科書にと書いたものである。エンジニア・エコノミストや官僚たちの経済にかかわる百科事典とも位置づけられ、その内容は、ワルラスをはじめとする多くの経済学者にも取り上げられ⁴⁾、当時のフランスの経済学の集大成とも位置付けられているほどである。

全6巻の大作である『経済学講義』は、最初1901年から07年にかけて、公刊された。最後の改訂は1924年から33年にかけて行われ、第7巻が付け加えられた。滋賀大学が所蔵する『経済学講義』の第1巻「経済現象の一般的理論」は

4) Walras (1965) letter1673など。

1907年に公刊された。第1巻としては第2版のものである。

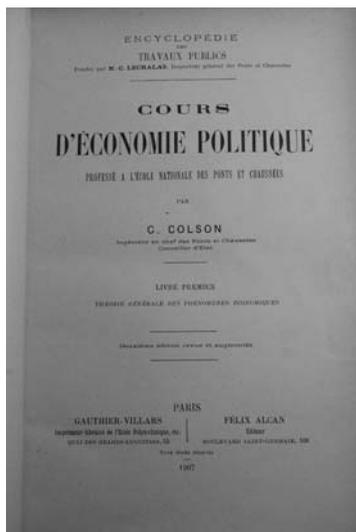


図2

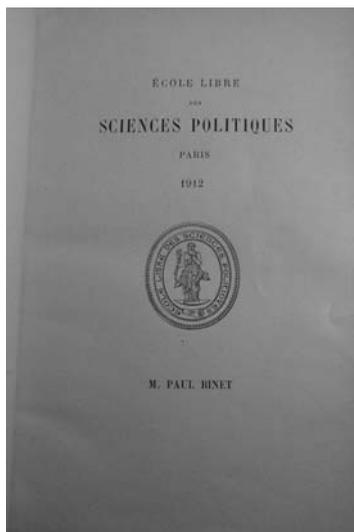


図3

さて図2は、第1巻のタイトルであるが、本書の滋賀大学所蔵版には、このようなタイトルが現れる前に、図3のようなとびらがつけられている。

実は、このとびらに記された Paul Binet という名の人物こそが、今回とりあげるコルソンの書簡の受取人なのである。Binet という人物は、この滋賀大学所蔵版『経済学講義』の所有者であったにちがいない。このとびらは、滋賀大学所蔵版の全6巻すべてにみられるが、おそらく製本時に付け加えられたものであろう。なぜなら他大学所蔵の同じ版を調べてみたが、このようなとびらはつけられていないからである。

このとびらには、「政治自由学校、パリ、1912年」と記されているが、この年はコルソンがそこで教鞭をとっていた時期にあたり、『経済学講義』はそこでの教科書として用いられていたのかもしれない。

Binet という人物は、1923年には、コルソンと同じ国務院に勤務している。Binet 氏への封筒の宛先が、国務院になっているからである。1912年当時は、高級官僚養成校の前身であるこの学校で、コルソンの講義を受けていたのでは

ないかと推測される。

3. 書簡

それでは最後に、書簡の内容をみてみよう。『経済学講義』の第1巻にはさ
まれていたのは、1923年1月17日付の書簡と、1923年8月14日付の書簡と封筒
(消印は9月10日)である。便せんはいずれも、 国務院のものである。

(1) 1923年1月17日コルソンからピネへの書簡



図 4

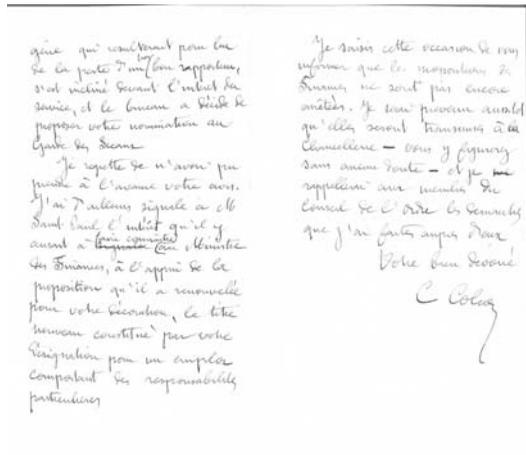


図 5

(書簡のテキスト)

Paris le 17 Janvier 1923

Mon cher collègue

Le bureau du Conseil vient de délibérer sur les mesures à prendre pour assurer le service du Commissariat du Gouvernement pour la Section spéciale du Contentieux, la maladie de⁵⁾ l'obligeant à un repos complet. M. Arrivière nous a exposé qu'il ne

5) 解読不能

voyait que vous qui fussiez capable d'occuper ce poste délicat. M. Bonnier, après avoir protesté contre le gêne qui résulterait pour lui de la perte d'un très bon rapporteur, s'est incliné devant l'intérêt du service, et le bureau a décidé de proposer votre nomination au Garde des Sceaux.

Je regrette de n'avoir pu prendre à l'avance votre avis. J'ai d'ailleurs signalé à M. Saint-Paul l'intérêt qu'il y aurait à faire connaître au Ministre des Finances, à l'appui de la proposition qu'il a renouvelée pour votre décoration, le titre nouveau constitué par votre désignation pour un emploi comportant des responsabilités particulières.

Je saisis cette occasion de vous informer que les⁶⁾ des Finances ne sont pas encore arrêtées. Je serai prévenu aussitôt qu'elles seront transmises à la Chancellerie - vous y figurerez sans aucun doute - et je rappellerai aux membres du Conseil de l'Ordre les demandes que j'ai faites auprès d'eux.

Votre bien dévoué

C Colson.

(テキストの和訳)

1923年1月17日 パリにて

親愛なる同僚へ、

国務院の事務局は、訴訟の特別課のために政府の委員職を確保するのに取るべき手段を討議したところですか。？の病のために、それは完全に休止することを余儀なくされています。アリヴィエール氏は我々に、この難しい任務に就くことができるのは、あなたにおいてほかにないと説明しました。ポニエ氏は、彼にとっては、とてもよい告げ口屋を失った結果生じる不都合に抗議したあと、その任務の利益に従いました。そして事務局は、あなたの任命を法務大臣に提案することを

6) 解説不能

決定しました。

私は、あなたの意向を前もって取り入れることができなかつたことを悔やんでいます。さらに私はサン＝ポール氏に、大蔵大臣に知らせるべきであろう利益について知らせました。あなたの勲章のために彼が書き換えた提案を根拠として、特別な責任を伴う業務にあなたを任命することにより生じる肩書きのことです。

この機会を利用してお知らせしますが、大蔵省の？はまだ終わっていません。それらが勲位局に手渡されたらすぐに、知らせてもらえるでしょう。あなたがそのリストに載ることは疑いありません。私は、勲位委員会のメンバーに、私の要求をもう一度伝えようと思います。

敬具

C. コルソン

(2) 1923年8月14日コルソンからビネへの書簡

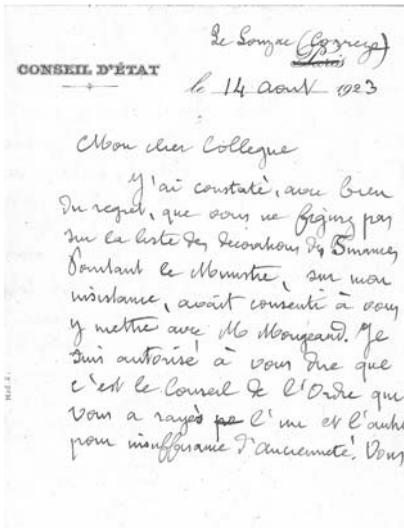


図 6



図 7



図 8

(書簡のテキスト)

Le Lonzac (Corrèze)

le 14 août 1923

Mon cher collègue

J'ai constaté, avec bien du regret, que vous ne figurez pas sur la liste des décorations des Finances. Pourtant le Ministre, sur mon insistance, avait consenti à vous y mettre avec M. Mougeaud. Je suis autorisé à vous dire que c'est le Conseil de l'ordre qui vous a rayé l'une et l'autre pour insuffisance d'ancienneté! Vous savez que pareille mesure interne est arrivée jadis à Alibert; vous êtes donc en bonne compagnie. Prévenu maintenant, je tacherai de changer l'opinion des membres du Conseil en allant les voir à l'avance pour le mois de janvier. Vous savez, en tout cas, que ce n'est pas faute d'avoir reconnu la qualité de vos services que nous n'avons pu les récompenser.

Votre bien dévoué

C Colson.

(テキストの和訳)

1923年 8月14日 Le Lonzac (Corrèze 県) にて

親愛なる同僚へ

残念ながら、大蔵省の勲章リストにあなたの名前がないことを認めました。しかしながら、大臣は、私が主張したため、あなたをムジョー氏とともに、リストに付け加えることに同意しました。年功の不足からあなた方二人をリストから消したのは、勲章委員会だということをお伝えします。似たような内部的処置は、かつてアリベールにも行われました。したがってあなたは良き仲間になるというわけです。今や知らせを受けたので、1月のために前もって委員会のメンバーに会いに行き、彼らの意見を変えるつもりです。ご存じのように、いずれにしても、あなたの業績の質を認識しそこなったからではありません。我々はそれに報いることができなかつたのです。

敬具

C. コルソン

以上のように、書簡の内容は、かつて自分の教え子であったかもしれないピネ氏の昇進や勲章受章をめぐって、コルソンが口利きをするという、生々しいものである。学者として名をなしただけでなく、行政の世界でもその能力をいかに発揮したコルソンの人となり伝わってくる。

このコルソンが、フランスにおける理論経済学の発展や、経済学教育の進展にいかなる貢献をしたのかについては、その思想的意義も含めて、またあらためて論じたいと思う。

文献一覧

コルソンの著作

Colson, C. 1907. *Cours d'économie politique, professé à l'Ecole Nationale des Ponts*

et Chaussées, Livre Premier, Théorie générale des phénomènes économiques, 2e éd., rev. et augm, Paris, Gauthier-Villars: F. Alcan.

その他の文献

1. Breton, Y. and Lutfalla, M. 1991. *L'Economie Politique en France au XIX siècle*, Paris, Economica.
2. Klotz, G. 1980. 《Comptabilité nationale et philosophie politique: Clément Colson》, *Analyse Épistémologie Histoire économiques, Etat et Régulations*, Presses Universitaires de Lyon.
3. 栗田啓子1992. 『エンジニア・エコノミストーフランス公共経済学の成立』東京大学出版会
4. Roy, R. 1940. “Clément Colson”, *Econometrica*, vol.8, No.3, pp.193-198.
5. Walras, L. 1965. *Correspondence of Léon Walras and Related Papers*, ed. William Jaffé, 3 vols. Amsterdam, North-Holland Publishing Company.
6. Zouboulakis, M.S. 2003. “Clément Colson (1853-1939): A Liberal Serving Public Interest”, *European Economists of the Early 20th Century*, volume 1, ed. Warren J. Samuels, Cheltenham and Northampton, Edward Elgar.
7. Zylberg, A. 1990. *L'économie mathématique en France: 1870-1914*, Paris, Economica.

Two letters of Clément Colson (1853-1939) preserved in Shiga University Library

Kayoko MISAKI

Abstract

Clément Colson (1853-1939) is one of the most important French Engineers of the 20th century. He was an influential economist and a prominent civil servant in France. He ended his carrier as the Vice president of the State Council. He was also a successful teacher of Economics.

Shiga University Library owns a copy of his principal work in 6 volumes, *Cours d'économie politique* (1901-1907). This was written as a text book for Colson's teaching at the various schools of engineers and civil servants.

The author happened to find Colson's two letters between the pages of its first volume, *Théorie Générale des phénomènes économiques* (1907). These letters were written in 1923, for Paul Binet, who seems to be the former owner of this copy.

Binet was working for the State Council, whose Vice president was Colson when the letters were written and we suppose that he was one of Colson's students.

This article aims to explain Colson's personal history, to clarify the background of these letters and to establish the text of the two letters. It also contains its Japanese translation.